

(The English Partial translation of the Specification of
Japanese Utility Model Laid-open Publication No. 55-179150)

(Front page of Application)

Filing date: June 8, 1979

1. Title of Device: Apparatus for positioning the cover of a container and preventing the looseness of the cover
2. Creator of device: Tadahide Miyazawa
3. Applicant: Koatsu Kako K.K.

(at page 1, lines 4 to 15)

2. Claims of utility model

1. An apparatus for positioning the cover of a container and preventing the looseness of the cover, wherein

in a container having a body (1) to which a cover (2) having almost the same form as the cross sectional form of the body (1) is to be screwed, a securing projecting portion (4) projecting in the radial direction of the body (1) is formed on the side wall at the lower end of the neck portion (3) of the body (1) of the container, an annular recess portion (9) is formed in the inner wall at the end of the mating cylindrical portion (5) of the cover (2), high and low projections (7) and (8) are formed inward in the radial direction in the recess portion (9), a securing recess portion (6) is formed at the halfway position between these projections (7) and (8), and this securing recess portion (6) is located at a position where alignment between the body (1) and the cover (2) is completed when the securing projection portion (4) fits in the securing recess portion (6).

(at page 5, lines 1 to 4)

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1...a body | 2...a cover |
| 3...a neck portion | |
| 4...a securing projecting portion | |
| 5...a mating cylindrical portion | |
| 6...a securing recess portion | |

7...a high projection 8...a low projection



(4,000円)

後記号なし

実用新案登録願(3)

昭和54年6月8日

特許庁長官 熊谷 善二 殿



1. 考案の名称

ロウキブタ イナアワ タンニル ボウシンウチ
容器蓋の位置合せ兼弛み防止装置

2. 考案者

アサヒシ
千葉県旭市二の11 雇用促進住宅1-308

ミヤ マワ ナガ ヒデ
宮 澤 忠 秀



3. 実用新案登録出願人

シブヤノシブヤ
東京都渋谷区渋谷2丁目19番15号

コウアツカロウ
高圧化工株式会社

代表者 スガ ヤ シオ
菅 谷 園子夫



4. 代理人

東京都千代田区麹町4丁目5番地(〒102)

(6513) 弁理士 月 村

電話東京(263) 8811~3

方式
審査



(1)

✓ 54 078172

明 細 書

1. 考案の名称

容器蓋の位置合せ兼弛み防止装置

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 容器本体(1)に、横断面形がそれとほぼ等しい蓋(2)が螺合する形式の容器において、容器本体(1)の頸部(3)の下端側面に半径方向に突出した係止凸部(4)を形成し、蓋(2)の螺合筒部(5)の先端内周面に環状凹所(9)を形成し、この凹所(9)に半径方向内方に向けて、高低兩突条(7)(8)を突出して、その中間に係止凹部(6)を形成し、この係止凹部(6)が係止凸部(4)に係止した際、容器本体(1)と蓋(2)との位置合せが完了する位置に配置されていることを特徴とする容器蓋の位置合せ兼弛み防止装置。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、横断面形が容器本体とほぼ等しい容器の蓋を容器本体に螺合し終えたとき、前者が後者に対して常に所定の位置的關係を保つ、いわゆる位置合せが完了し、かつその後みだり

に弛むのを防止する装置に関する。

従来容器蓋の位置合せ装置としてある種のもの
が提供されているが、それは構造が複雑で、
かつ操作が容易でないという欠点があり、さら
に位置合せという機能のみしか達成できないも
のであつた。

この考案は、前記のような従来のものもつ
欠点を排除し、さらに位置合せに加えて弛み防
止をも達成できる容器蓋の位置合せ兼弛み防止
装置を提供することを目的とするものである。

図面に示す実施例を参照して、この考案を説
明する。

1は容器本体であつて、おすねじ付き頸部3
の下端側面に半径方向に突出した係止凸部4が
形成されている。

2は横断面形が容器本体1のそれにほぼ等し
い蓋であつて、そのめすねじ付筒部5の先端内
周面に環状凹所9を形成し、この凹所9に半径
方向内方に向けて、高低両突条7、8を突出し
て、その中間に係止凹部6が形成されている。

前記のようなものにおいて、容器本体 1 に対する蓋 2 の螺合を進めると、係止凸部 4 が蓋 2 の環状凹所 9 内に位置して抵抗を受けることなくそのまま進み、やがて第 2 図に示すように突条 8 に衝突するが、この突条 8 の半径方向の高さが低いので、凸部 4 は突条 8 を乗越えて第 3 図の位置に到達し、突条 7 に衝突する。この突条 7 は半径方向の高さが高いので、凸部 4 はこの突条 7 を乗越えることができずにここで停止し、その結果凸部 4 は凹部 6 に係合し、両突条 7、8 に挟持されて、蓋 2 はそれ以上の進行が防止されるとともに、多少の力では弛むことがなく、そのうえ容器本体 1 と蓋 2 とが同じ位相となり、完全に位置合せされた状態で結合することとなる。

ここで開蓋したい際は、蓋 2 を前とは逆方向に強い力で回転すると、第 2 図に示すように係止凸部 4 が突条 8 を乗越えて係止凹部 6 から抜け出て、蓋 2 の取外しが行われることとなる。

この考案は前記のようであるから、蓋を容器

本体に螺合し、その螺合が終わると、係止凹凸部が係合して、運搬時及び保管時等にみだりに蓋が離脱することがなく、またそのような係止時には自動的に容器本体に対する蓋の位置合せがなされ、その構造及び操作がきわめて簡単であるという効果がある。さらに係止凹部は、蓋の先端内周面に形成された環状凹所において、半径方向に突出した高低兩突条によつて形成されているので、容器の係止凸部は低突条を乗越えろというわずかな抵抗に適合するだけで円滑に係止凹部に進入することができ、したがつて係止凸凹部の係合に際し、蓋及び容器に生ずる変形量が小さくてこれに伴う内部応力が極小で済み、特に蓋の損傷を有効に回避できるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この考案の実施例の一部を切断して示す分解斜面図、第2図は同上の閉蓋時の要部横断平面図、第3図は同上の開蓋動作初期の状態を示す同様の図面である。

1 ... 容器本体

2 ... 蓋

3 ... 頸部

4 ... 係止凸部

5 ... 螺合筒部

6 ... 係止凹部

7 ... 高突条

8 ... 低突条



実用新案登録出願人

高圧化工株式会社

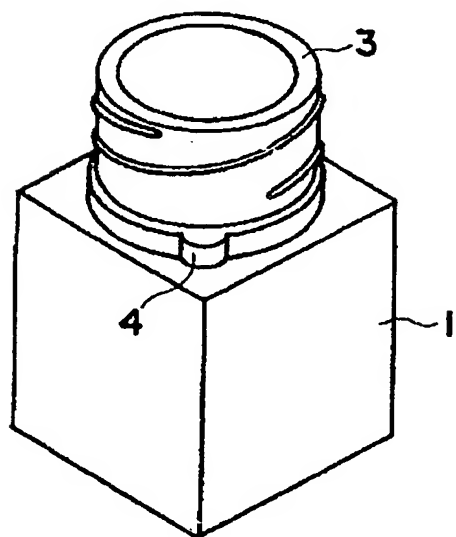
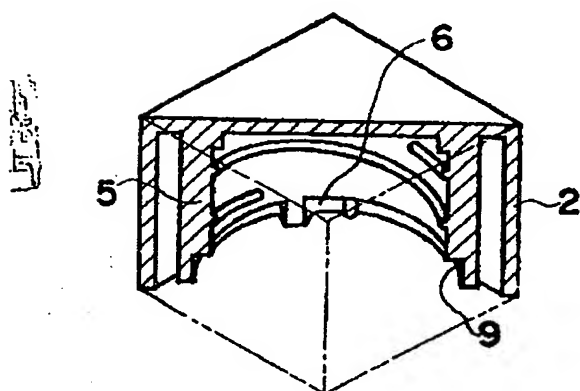
代理人 弁理士

月 村

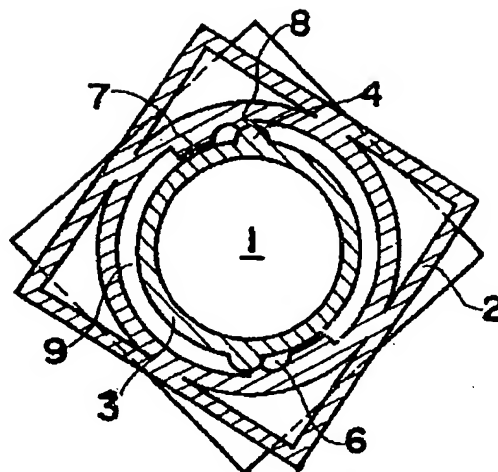


名

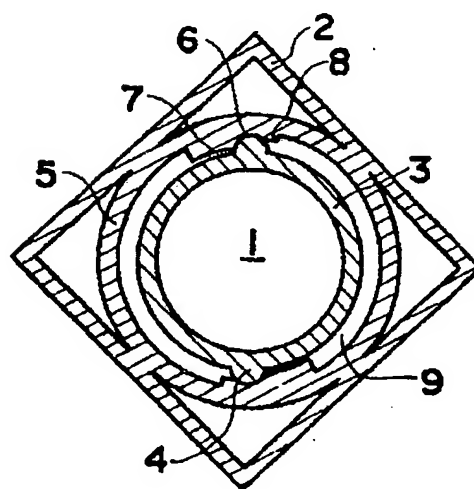
第 1 図



第 2 図



第 3 図



179150

実用新案登録出願人 高压化工株式会社
代理人 井理士 月 村 茂外名

5. 添付書類の目録

- | | |
|---------------|-----|
| ✓ (1) 明 細 書 | 1 通 |
| ✓ (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |
| ✓ (4) 委 任 状 | 1 通 |
| ✓ (5) 出願審査請求書 | 1 通 |

6. 前記以外の代理人、考案者および実用新案登録出願人

(1) 代 理 人

東京都千代田区麹町4丁目5番地 (〒102)

(7147) 弁理士 佐 田 守

電話 東京 (263) 3-8-01 3

